

地理歴史・公民 (2023)

(日本史)

- (注意事項)
- 1 問題文は26ページあります。
 - 2 解答は解答用紙の所定欄に記入してください。下書きは、問題冊子の余白を利用してください。ただし、回収はしませんので採点の対象とはなりません。
 - 3 解答はすべてマークセンス方式となっていますので、解答用紙の注意事項をよく読み解答してください。
 - 4 受験番号・氏名・フリガナは、監督者の指示に従って、解答用紙の所定欄に丁寧に記入してください。
 - 5 解答用紙にマークセンス方式の受験番号欄があります。受験番号をマークする際は濃く丁寧にぬってください。
 - 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

I 日本と朝鮮半島との関係の歴史に関する以下のA～Cの文章を読み、問1～問15に対する答えを選択肢より一つずつ選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークせよ。

A

中国大陸ではじまった農耕は、朝鮮半島を経て日本列島に伝播し、弥生文化が成立した。
中国で漢が滅び、のちに続く三国時代や南北朝時代には、周辺に対する中国の支配力は弱まり、東アジアの諸地域では次々と国家形成がすすんだ。日本列島においてもヤマト政権が成立し、朝鮮半島から渡来した人びとが活躍した。6世紀の朝鮮半島での動乱に対して、ヤマト政権では中央集権の制度の確立をめざす動きがおこった。

7世紀の朝鮮半島での戦争は、律令国家成立の直接的な要因の一つとなった。奈良時代に朝鮮半島とのあいだで使節が往来し、それが途絶えたが、9世紀前半には朝鮮半島の商人が貿易のために来航した。

13世紀後半には中国を元が支配し、朝鮮半島の高麗も元によって支配されると、日本に元軍が来襲した。この元寇後も東アジアの交易は発展し、北九州地方を拠点とする倭寇とよばれる海賊集団が朝鮮半島や中国大陸の沿岸をおそった。

その後中国で明が建国されると、倭寇を撃退して建国した朝鮮は、日本などととも明によって伝統的な国際秩序のなかに組み込まれていった。その後、日本と朝鮮のあいだにも国交がひらかれた。

さらに全国を統一した豊臣秀吉は、日本を中心とする東アジアの国際秩序をつくることを目指し、朝鮮に兵をおくった。ついで江戸幕府は朝鮮との講和を実現し、朝鮮から使節が来日することになった。

問1 下線部(ア)に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

1

- ① 中国東北部からおこった高句麗が、4世紀には、楽浪郡を滅ぼして朝鮮半島北部を支配した。
- ② 4世紀には、辰韓から百済が、馬韓から新羅がおこって、朝鮮半島の小国を統一して建国した。
- ③ 4世紀後半に、高句麗が南下策を進めると百済・加耶とともに倭国（ヤマト政権）も高句麗と戦った。
- ④ 5世紀初めから約1世紀のあいだ、讃・珍・済・興・武の倭の五王が次々に中国の南朝に朝貢した。
- ⑤ ヤマト政権は、朝鮮半島からの渡来人を、錦織部・韓鍛冶部・鞍作部・陶作部などの部に組織した。

問2 下線部(イ)に関する以下の記述のうち、もっとも適切なものはどれか。

2

- ① 朝鮮半島では、唐と新羅が結んで660年に高句麗を668年には百済を滅ぼした。
- ② 倭は唐・新羅に対して高句麗復興のために大軍を派遣したが、白村江の戦いで唐・新羅連合軍に大敗した。
- ③ 白村江の戦いののち、倭国では、大宰府を守るため水城や朝鮮式山城が築かれた。
- ④ 朝鮮半島におこった渤海は、日本が従属国として扱おうとしたため、たびたび両国関係が緊張した。
- ⑤ 朝鮮では10世紀はじめに高麗がおこり、やがて高句麗を滅ぼして936年に朝鮮半島を統一した。

問3 下線部(ウ)の元寇の時の鎌倉幕府の執権はだれか。

3

- ① 北条経時
- ② 北条時頼
- ③ 北条長時
- ④ 北条政村
- ⑤ 北条時宗

問4 下線部(エ)の日朝関係に関連するできごと a～c を古いものから年代順に正しくならべたものはどれか。

4

- a 日朝貿易の開始
- b 応永の外寇
- c 三浦の乱

- ① a→b→c
- ② a→c→b
- ③ b→a→c
- ④ b→c→a
- ⑤ c→a→b
- ⑥ c→b→a

問5 下線部(オ)に関する以下の記述で誤りを含むものはどれか。

5

- ① 豊臣秀吉は、対馬の宗氏を通して朝鮮に対し入貢と明への出兵の先導とを求めたが、拒否された。
- ② 豊臣秀吉は、豊前の名護屋に本陣を築き、1594年に15万余りの大軍を朝鮮に派兵した。
- ③ 日本軍は漢城（ソウル）を占領したが、朝鮮水軍の活躍や明からの援軍などにより、苦戦を強いられた。
- ④ 徳川家康は朝鮮と講和し、1609年に朝鮮と対馬の宗氏との間に己酉条約が結ばれ、貿易が再開された。
- ⑤ 朝鮮からは前後12回の使節が来日し、4回目からは通信使と呼ばれた。

B

明治に入ると、新政府は発足とともに朝鮮に日本を上位とする国交樹立を求めた。朝鮮が^(ア)拒否すると、征韓論がとなえられ、武力行使をも辞さない強硬策が主張された。しかし、これは反対にあって頓挫した。日本は朝鮮に日朝修好条規の締結を迫り、朝鮮の開国を実現した。

その後、朝鮮に対する影響力の拡大をめざす日本政府は、宗主国清国を後ろ盾に日本の進出^(イ)に対抗する朝鮮政府との対立を強めた。日本と朝鮮の対立は、やがて日本と清国の対立^(ウ)に拡大し、甲午農民戦争をきっかけとして日清戦争がはじまった。日清戦争に勝利した日本は、朝鮮に対する清国の宗主権を否定した。

しかし日清戦争による日本の遼東半島の獲得に反対するロシアなどの返還勧告を日本が受け入れたことによって、朝鮮の国内では、ロシアの支援で日本に対抗する動きが強まり親露政権^(エ)が成立した。その結果、日本とロシアは対立し、日露戦争がはじまった。日露戦争に勝利した日本は、ロシアに韓国に対する日本の指導・監督権を認めさせた。さらに、3次にわたる日韓協約によって外交権・内政権を掌握した日本は、1910年に韓国併合条約を締結して韓国を実質的な植民地とした。

問 6 下線部(ア)に関する以下の記述で誤りを含むものはどれか。

6

- ① 岩倉具視を大使とし大久保利通・大隈重信らを副使とする使節団の米欧派遣の期間に留守政府が征韓論をとなえた。
- ② 留守政府は、西郷隆盛を使節として朝鮮に派遣して開国を迫り、朝鮮政府が拒否した場合には武力行使をすると決定した。
- ③ 岩倉使節団に参加した大久保利通らは、帰国すると内治の整備が優先として、西郷らの朝鮮派遣に反対した。
- ④ 西郷隆盛や板垣退助・江藤新平らの留守政府の征韓派参議は、征韓論が否決されると一斉に辞職した。
- ⑤ 日朝修好条規は、釜山ほか2港の開港と日本の領事裁判権や関税免除を認めさせるなどの不平等条約であった。

問7 下線部(イ)の朝鮮をめぐる日本と清国の対立に関するできごと a～c を古いものから年代順に正しくならべたものはどれか。 7

- a 天津条約締結
- b 甲申事変
- c 壬午軍乱（壬午事変）

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問8 下線部(ウ)に関する以下の記述のうち最も適切なものはどれか。 8

- ① 1894年、朝鮮でキリスト教を信仰する東学の信徒を中心に、政府の開化路線に反対する農民反乱がおこった。
- ② 甲午農民戦争（東学の乱）を鎮圧するために、朝鮮政府は清国と日本に出兵を要請した。
- ③ 日本は清国に対抗して出兵し、清国に宣戦を布告したのち豊島沖海戦をおこして、日清戦争がはじまった。
- ④ 日清戦争の直前に、領事裁判権廃止や関税率の引き上げなどを内容とする日英通商航海条約が調印された。
- ⑤ 1895年、日本全権伊藤博文・青木周蔵と清国全権李鴻章との間で下関条約がむすばれた。

問9 下線部(エ)に関する以下の記述で誤りを含むものはどれか。 9

- ① 日本の公使三浦梧楼は、公使館守備隊などによって親露派の閔妃を殺害した。
- ② 国王高宗はロシア公使館に避難して、親露政権を成立させた。
- ③ 北清事変がはじまると、朝鮮は国号を大韓帝国（韓国）と改め、朝鮮国王も皇帝を名乗った。
- ④ 第2次日韓協約によって、日本は韓国の外交権を奪い、韓国の外交を統括する統監府をおいた。
- ⑤ 日本は韓国皇帝高宗を退位させ、第3次日韓協約によって韓国内政権を掌握した。

問10 日本が設立した朝鮮総督府の初代総督はだれか。

10

- ① 伊藤博文
- ② 樺山資紀
- ③ 桂太郎
- ④ 寺内正毅
- ⑤ 小村寿太郎

C

第一次世界大戦期における民族自決の国際世論の高まりを背景に、朝鮮独立を求める運動が盛り上がり、1919年3月朝鮮全土で独立を求める大衆運動が展開された。日本の朝鮮総督府は、警察・憲兵・軍隊を動員してきびしくこれを弾圧した。さらに1923年の関東大震災では、多くの朝鮮人が流言によって殺害される事件がおこった。

太平洋戦争では朝鮮から多くの人々が動員された。日本による朝鮮半島の植民地統治は1945年の日本の敗北により瓦解した。その後、南北に分断された戦後の朝鮮半島は厳しい冷戦に巻き込まれた。一方で、1950年に勃発した朝鮮戦争の特需は戦後日本の経済復興をもたらした。

日本の植民地支配は戦後の日本外交の進展に重大な影響を与えた。日本と大韓民国の国交調整協議は対日講和条約が成立したころから開始された。交渉は難航したが、佐藤内閣によって日韓基本条約が締結された。

その後、小泉首相は、2002年に国交正常化を求めて朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）を訪問した。その際に、日本人拉致問題をはじめ、解決すべき多くの課題があきらかになった。

問11 下線部(ア)に関する以下の記述で最も適切なものはどれか。

11

- ① 日本統治下の朝鮮では、多くの農地が国有地に編入され、一部は東洋拓殖会社などに払い下げられた。
- ② 第一次世界大戦後のワシントン会議での決議にもとづき、民族自決の原則のもとで東欧に多数の独立国家が誕生した。
- ③ 1919年3月1日に平壤で、朝鮮の独立を宣言する集会が開かれ、全国に広まっていった。
- ④ 関東大震災の混乱の中で、多くの朝鮮人が虐殺されるとともに、社会主義者が殺害される虎の門事件がおこった。
- ⑤ 関東大震災で決済不能となった手形について、手形振り出し企業に対して政府が特別融資をすることで事態が収束した。

問12 関東大震災の直後に災害に対処した首相は次のうちどれか。

12

- ① 加藤友三郎
- ② 山本権兵衛
- ③ 清浦奎吾
- ④ 高橋是清
- ⑤ 加藤高明

問13 下線部(イ)に関する以下の記述で誤りを含むものはどれか。

13

- ① 朝鮮では1943年に徴兵制が施行された。
- ② 数十万人の朝鮮人が日本本土に連行され、鉱山や土木工事現場などで働かされた。
- ③ 戦地に設置された「慰安施設」に日本国内や朝鮮などから女性が集められた。
- ④ 1945年に、朝鮮半島北部には朝鮮民主主義人民共和国が、南部には大韓民国が建国された。
- ⑤ 1950年、中国での共産主義の台頭に触発された北朝鮮は、武力統一をめざして韓国に侵攻し、朝鮮戦争がはじまった。

問14 下線部(ウ)の戦後の経済復興およびその後の経済成長に関する以下の記述で誤りを含むものはどれか。

14

- ① 1951年には、鉱工業生産などが戦前の水準をこえた。
- ② 1952年には、国際通貨基金（IMF）に加盟した。
- ③ 1956年の『経済白書』には「もはや戦後ではない」と記された。
- ④ 1964年には、経済協力開発機構（OECD）に加盟した。
- ⑤ いざなぎ景気から岩戸景気をへて神武景気と大型景気がつづいた。

問15 下線部(エ)の日韓基本条約締結に前後するできごと a～c を古いものから年代順に正しくならべたものはどれか。

15

- a 奄美諸島日本返還
- b 日韓基本条約締結
- c 東海道新幹線開業

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

- Ⅱ 以下の資料および画像A～Cを見て、問1～問9に対する答えを選択肢より一つずつ選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークせよ。

A

(寛仁二年十月)十六日乙巳、今日、女御藤原(ア)を以て皇后に立つるの日なり。昔の繁盛の態なり、一家三后を立つるごと、未だ嘗て有らざる。(中略)太閤、下官を招き呼びて云く、「和歌を讀まむと欲す。必ず和すべし。」者。答へて云く、「何ぞ和し奉らざらむや。」又云ふ、「誇りたる歌になむ有る。但し宿構に非ず。」者。「此の世をば我が世とぞ思ふ望月のかけたることも無しと思へば」。余申して云く、「御歌優美なり。酬答に方無し、満座只此の御歌を誦すべし。……」と。……

問1 空欄(ア)にあてはまる人物の名として最も適切なものはどれか。

16

- ① 威子
- ② 嬉子
- ③ 妍子
- ④ 彰子
- ⑤ 詮子

問2 下線部(イ)に関連して、同時代の文化に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

17

- ① かな文字の発達により、日本人の感情や感覚を生き生きと伝えることが可能となった。
- ② かな物語として、一貴族の生涯を歌物語としてつづった『源氏物語』があらわれた。
- ③ 『古今和歌集』の繊細で技巧的な歌風は、長く和歌の模範とされた。
- ④ 書道の名手として、小野道風・藤原佐理・藤原行成があらわれた。
- ⑤ 日本の風物を題材とした大和絵が、寝殿造の建物で使用された襖や屏風に描かれた。

問3 下線部(ウ)に関連して、藤原北家の摂関家の地位を不動のものとしたできごととして最も適切なものはどれか。

18

- ① 『古今和歌集』の編纂
- ② 安和の変
- ③ 承平・天慶の乱
- ④ 延喜・天曆の治
- ⑤ 平城太上天皇の変（薬子の変）

B

一 質券売買地の事

右、所領を以て或いは質券に入れ流し、或いは売買せしむるの条、御家人等侘僂の基なり。向後に於いては、停止に従ふべし。以前沽却の分に至りては、本主領掌せしむべし。但し、或いは御下文・下知状を成し給ひ、或いは知行廿箇年を過ぐるは、公私の領を論ぜず、今更相違有るべからず。若し制符に背き、濫妨を致すの輩有らば、罪科に処せらるべし。

次に非御家人・凡下の輩^(ア)の質券買得地の事。年紀を過ぐと雖も、売主知行せしむべし。

問4 Bに関連する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

19

- ① 幕府による貨幣の鑄造にともなう貨幣経済が進展し、御家人のなかには借財を重ねるものもいた。
- ② 御家人の救済策として、御家人が関係する金銭上の訴訟を受け付けないこととした。
- ③ 御家人の所領の質入れや売買を禁止し、それまでに質入れ、売却した所領を無償で取り戻させた。
- ④ 惣領制にもとづく分割相続の繰り返しは、御家人の所領を細分化させた。
- ⑤ 蒙古襲来の負担に対して、幕府は十分な恩賞を与えることができず、御家人たちの信頼を失った。

問5 下線部(ア)に関連して、史料Bにおける具体例として最も適切なものはどれか。

20

- ① 借上
- ② 行商人
- ③ 下人
- ④ 御内人
- ⑤ 名主

問6 鎌倉文化に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

21

- ① 禅宗では頂相を崇拜する風習が中国から伝わり、高僧の肖像画が描かれた。
- ② 尊円は、平安時代の和様をもとに中国の書風を取り入れて、書道の青蓮院流を創始した。
- ③ 高階隆兼によって、絵巻物の寺社の縁起である『春日権現験記』が制作された。
- ④ 朝廷の儀式・先例を研究する有職故実の学がさかんになり、順徳天皇が『禁秘抄』を著した。
- ⑤ 時宗の忍性は、戒律を重んじるとともに、社会事業にも力を尽くした。

C



この建築物は書院造風を基調とした住宅建築様式となっている。

問7 Cを建てた人物と関係の深いできごとは次のうちどれか。

22

- ① 明徳の乱
- ② 応仁の乱
- ③ 応永の乱
- ④ 永享の乱
- ⑤ 寧波の乱

問8 Cが建てられた時代の文化についての以下の記述のうち誤りを含むものはどれか。

23

- ① 明からの渡来僧である雪舟は水墨画の様式を創造した。
- ② 大和絵では土佐光信が土佐派の基礎を固めた。
- ③ 狩野正信・元信父子は水墨画と大和絵を融合させて狩野派をおこした。
- ④ 茶の湯では村田珠光が侘茶の方式を編み出した。
- ⑤ 立花の名手として池坊専慶があらわれた。

問9 Cが建てられた前後の時代のできごと a～c を古いものから年代順に正しくならべたものはどれか。

24

- a 加賀の一向一揆が始まる
- b 嘉吉の徳政一揆（土一揆）がおこる
- c 山城の国一揆が始まる

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

Ⅲ 以下の3人の人物A～Cに関する文章を読み、問1～問9に対する答えを選択肢より一つずつ選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークせよ。

A

角倉了以は、土倉である角倉家の出身で、戦国時代から江戸時代初期にかけての京都の豪商である。朱印船貿易の開始とともに安南国との貿易を行い、さらに糸割符商人としても活躍した。また江戸幕府の命令によって水上交通の発達にも寄与した。

問1 下線部(ア)の安南国とは、以下のうちどの国か。

25

- ① ベトナム
- ② シャム
- ③ カンボジア
- ④ ポルトガル
- ⑤ スペイン

問2 下線部(イ)の糸割符商人と貿易に関するできごと a～c を古いものから年代順に正しくならべたものはどれか。

26

- a 中国船以外の外国船の入港を平戸・長崎に限った。
- b スペイン船の来航を禁じた。
- c 糸割符制度が始まった。

- ① a→b→c
- ② a→c→b
- ③ b→a→c
- ④ b→c→a
- ⑤ c→a→b
- ⑥ c→b→a

問3 下線部(ウ)の江戸時代の水上交通および海上交通に関する以下の記述のうち誤りを含むものはどれか。

27

- ① 角倉了以は幕府の命により高瀬川を新たに開削した。
- ② 淀川・利根川などの河川交通や琵琶湖の湖上交通がさかんになった。
- ③ 河村瑞賢は東廻り航路・西廻り航路を整備した。
- ④ 西廻り航路は長崎から大坂を経て江戸にいたった。
- ⑤ 江戸－大坂間で菱垣廻船・樽廻船が就航した。

B

三井高利は江戸時代の有力商人である。伊勢国松坂の生まれで、江戸で呉服店を開業し、屋号を(ア)とした。この呉服店は現金掛値無し(現金払いでの定価販売)での店頭販売などの新商法を導入して繁盛した。のちに両替商^(イ)も開業し、さらに幕府の御用為替方を引き受けた。三井家はこの事業を代々継承し、明治以降は財閥に成長した。^(ウ)

問4 空欄(ア)に入る屋号は次のうちどれか。

28

- ① 伊勢屋
- ② 越後屋
- ③ 平野屋
- ④ 近江屋
- ⑤ 松坂屋

問5 下線部(イ)の両替商および貨幣に関する以下の記述のうち誤りを含むものはどれか。

29

- ① 両替商としては、江戸の三井以外に大坂の鴻池・天王寺屋などが有名であった。
- ② おもに西日本が銀遣い、東日本が金遣いであったため両替商が必要となった。
- ③ 徳川家康は、大判小判などの金貨、丁銀などの銀貨、銭貨の三貨を発行し、藩札も発行した。
- ④ 三貨の単位は、金貨は両・分・朱、銀貨は貫・匁・分・厘・毛、銭貨は貫・文であった。
- ⑤ 田沼時代には計数貨幣である南鐐二朱銀が鑄造された。

問6 下線部(ウ)の三井家に関するできごと a～c を古いものから年代順に正しくならべたものはどれか。

30

- a 富岡製糸場の払い下げを受けた。
- b 三井合名会社が創立された。
- c 政府の依頼で板垣退助・後藤象二郎の洋行費用を負担した。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

C

渋沢栄一は、江戸時代末期に名主身分から一橋家家臣に取り立てられ、徳川慶喜の將軍就任にともない幕臣となった。さらに明治維新後は、民部省を経て大蔵省の官僚となり、さまざまな政策立案を行った。

退官後は実業界に転じ、第一国立銀行や大阪紡績会社、東京商法会議所、東京証券取引所といった多種多様な会社や経済団体の経営や設立に関わり、「日本資本主義の父」と称されるようになった。

問7 下線部(ア)の徳川慶喜の將軍就任前後のできごと a～c を古いものから年代順に正しくならべたものはどれか。

31

- a 日米修好通商条約の勅許
- b 第2次長州征討（第2次幕長戦争）の開始
- c 徳川慶喜の將軍就任

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問8 下線部(イ)の明治維新後の官僚制度において、太政官が正院・左院・右院の三院制となったのは、次のどの改革のときか。

32

- ① 王政復古
- ② 政体書制定
- ③ 版籍奉還
- ④ 廃藩置県
- ⑤ 漸次立憲政体樹立の詔の発布

問9 下線部(ウ)の渋沢栄一が関係した会社に関する以下の記述で誤りを含むものはどれか。

33

- ① 第一国立銀行の前提となる国立銀行条例は、渋沢栄一を中心に定められた。
- ② 第一国立銀行は、正貨と交換できる兌換紙幣を発行する銀行として創立された。
- ③ 第一国立銀行は、国営ではなく民間の銀行で、設立時には兌換に必要な銀貨を保有していた。
- ④ 大阪紡績会社は、最新の機械を輸入して1万錘の大規模経営に成功した。
- ⑤ 大阪紡績会社は、昼夜2交代制労働の採用が成功の要因とされる。

IV 以下の政党と政治に関する文章A～Cを読み，問1～問9に対する答えを選択肢より一つずつ選び，その番号を解答用紙の所定の欄にマークせよ。

A

日清・日露戦争，第一次世界大戦とうち続く戦争とそれに伴う軍備拡張は，日本を世界有数の軍事大国に押し上げていくとともに，国民の不满を拡大させ，それを背景として国民の政治参加要求が拡大していった。日比谷焼き打ち事件^(ア)や大正政変^(イ)などに象徴される国民の不满の高まりは，米騒動を契機として本格的な政党内閣^(ウ)，さらには男子普通選挙にもとづく政党内閣を生みだした。こうした政党内閣によって協調外交が進められたが，満州事変とともに政党内閣も終焉を迎えた。

問1 下線部(ア)の日比谷焼き打ち事件のときの首相は，次のうちどれか。

34

- ① 伊藤博文
- ② 桂太郎
- ③ 西園寺公望
- ④ 山本権兵衛
- ⑤ 大隈重信

問2 下線部(イ)の大正政変前後のできごと a～c を古いものから年代順に正しくならべたものはどれか。

35

- a 加藤高明を総裁とする立憲同志会の結党
- b 大正政変
- c シーメンス事件の発覚

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問3 下線部(ウ)の政党内閣・普通選挙に関する以下の記述のうち誤りを含むものはどれか。

36

- ① 1898年に自由党・進歩党が合同して憲政党が結成され、最初の政党内閣である第一次大隈重信内閣が成立した。
- ② 第2次山県有朋内閣は、1900年に政党の力が軍部におよぶのをはばむために軍部大臣現役武官制を定めた。
- ③ 伊藤博文は、憲政党とむすんで1900年に立憲政友会を結成し、これを基盤に第4次伊藤内閣を組織した。
- ④ 1918年の米騒動をきっかけとして成立した原敬内閣は、男子普通選挙法案を提出したが、野党の反対で成立させることができなかった。
- ⑤ 1924年の総選挙において普通選挙の実現を唱えて圧勝した護憲三派によって加藤高明内閣が成立し、翌年普通選挙法が制定された。

B

敗戦直後に成立した皇族内閣以降の占領の進展は親米政権を生み出したが、戦後改革に呼応して中道連立内閣が登場した。

しかし、冷戦の開始や中国における共産党の勢力拡大によって、GHQの民主化路線は転換し、親米保守政権が誕生した。さらに冷戦や朝鮮戦争などによって日本の戦略的意義を再認識したアメリカは対日講和を急いだ。

独立回復後、日本の保守勢力は、憲法改正・再軍備の動きを強めた。これに対して革新勢力も対抗を強め、自由民主党と野党の保革対立という55年体制が成立した。

問4 下線部(ア)の皇族内閣である東久邇宮内閣が辞職する前後のできごと a～c を古いものから年代順に正しくならべたものはどれか。

37

- a 東久邇宮内閣の辞職
- b 五大改革指令の発令
- c 人権指令の発令

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問5 下線部(イ)の戦後改革に関して、新憲法公布後初の総選挙の結果、首相となったのは次のうち誰か。

38

- ① 幣原喜重郎
- ② 鳩山一郎
- ③ 吉田茂
- ④ 片山哲
- ⑤ 芦田均

問6 下線部(ウ)の55年体制成立に関する以下の記述で、最も適切なものはどれか。 39

- ① 1954年の昭和電工事件で吉田茂内閣に対する批判が強まり、自由党は分裂した。
- ② 吉田内閣退陣後、鳩山一郎内閣が成立し、憲法改正・再軍備が唱えられた。
- ③ 1955年、国民協同党と自由党の保守合同が行われ、自由民主党が成立した。
- ④ 保守合同に対抗して、その後左右に分裂していた日本社会党が統一された。
- ⑤ 自由民主党初代総裁となった石橋湛山は、日ソ国交回復を実現した。

C

55年体制のもとでは、自由民主党が優位である一方、社会党を中心とした野党勢力が国会内で憲法改正を許さない3分の1の議席を確保した。さらに60年安保における保革の対立激化のなかで、自由民主党は高度経済成長^(ア)によって国民を統合していく路線に転換していった。

経済成長によって国民は豊かになったが、一方で、政官財の癒着問題や消費税導入などが国民の不満を買い、非自民連立内閣^(イ)が成立して55年体制は崩壊した。その後さまざまな連立内閣^(ウ)をへて自民・公明の連立内閣が誕生した。ついで民主党を中心とした連立内閣が政権を握ることはあったが、現在ではふたたび自公の連立内閣が政権を担っている。

問7 下線部(ア)の高度経済成長についての記述で、誤りを含むものはどれか。

40

- ① 1955年から1973年までの期間、国民総生産の平均成長率は10%前後の高い水準を推移した。
- ② 鉄鋼・造船・自動車・電気機械・化学などの分野で急激な技術革新が進んだ。
- ③ 石炭から石油へのエネルギー革命が急速に進んだ。
- ④ 農業基本法が制定され、農業の合理化や生産性向上などが進められた。
- ⑤ 1ドル=360円の固定相場のもとで輸入が大きく伸びて、経常収支が大きく赤字化した。

問8 下線部(イ)の非自民連立内閣の首班である細川護熙が所属する政党は、次のうちどれか。

41

- ① 新生党
- ② 民主改革連合
- ③ 日本新党
- ④ 新党さきがけ
- ⑤ 社会民主連合

問9 下線部(ウ)の55年体制終焉後の政治状況についての以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

42

- ① 細川内閣のあとを継いだ羽田孜内閣が短命に終わると、自民党・社会党・新党さきがけの提携による村山富市内閣が成立した。
- ② 村山内閣のあと自民党・社会党・新党さきがけの連立を継承した橋本龍太郎内閣は、日米安保共同宣言を発表した。
- ③ 小泉純一郎内閣は、大胆な民営化と規制緩和をすすめたが、所得格差と地域格差が広がった。
- ④ 小泉純一郎首相が任期満了のため辞任すると、自民党・公明党の連立のもとで安倍晋三・小渕恵三・麻生太郎の内閣が成立した。
- ⑤ 麻生内閣のもとでの総選挙で民主党が圧勝し、鳩山由紀夫内閣が成立したが、政権は安定せず、菅直人内閣が成立した。